

設立趣旨書

ワールドランナーズ（WR）は1978年「飢餓の終わりのための活動」に参加していた「走ることが好きな人々」によって「走ることを通して飢餓の終わりに貢献しよう」というビジョンから米国で設立されたNGOです。ワールドランナーズ・ジャパン（WRJ）は1989年WRの飢餓の終わりと世界の平和のためのマラソン「モスクワピースマラソン」に日本から初めて参加した8人が帰国後同年7月にNGO(任意団体)として設立し今日に至っています。モスクワでは、赤ちゃんを乗せた乳母車を押しながら走るお母さんや、グループで横断幕を持って合唱しながら走る人達、沿道の人たちに自分の走る目的を書いたカードを配りながら走る人達、声を掛け合い、エイドを分けてくれたりなど自分の記録や順位ではなく大会の目的を思い思いの形でアピールしながら全員が共通のビジョンを共有して走る参加者の姿に感動。衝き動かされる様に資金も無く方法もわからないまま目をつぶって鼻をつまんで底なしの井戸に飛び込む様にこの活動（WRJ）を始めました。

WRJは、「走ることを通して地球上から慢性的な飢餓をなくす」というWRのビジョンを掲げるだけでなく、当時まだ日本では一般的でなかった「走る目的を周りの人々に話、スポンサーを募って走る事で寄せられたお金を貢献に回す」ことや「ある目的のためにランニング大会を開催し参加費から必要経費を差し引いた金額をその目的のために貢献する」ことなど、今までに無い文化を創り出すさきがけとしての意気込みから「走ることを通して貢献するという文化を日本に創作し根付かせ拡大してゆく」というWRには無い二つ目のビジョンを掲げ飢餓の終わりや国際貢献への新たな参加の切り口として誰でも踏み出せる「走る」という機会を市民レベルで提供し拡大し続けているところです。

WRJはそのビジョンに基づき以下の事業を継続して実施してゆくものです。

アフリカプロジェクト：慢性的飢餓の現地アフリカの人々を力づける所からケニヤ、タンザニアのスラムや農村、辺境のマサイの村の、自立のためのプロジェクトを支援、栄養改善、衛生的な水の確保、教育、技術訓練、保健医療、女性の自立、収入を得るためのプロジェクト等をサポートします。又、貢献のために走る機会の提供として以下の3事業を行ないます。

- 1) WRJ新春ランニング感謝祭：WRJの活動を支援するためのランニングイベント
- 2) WRJチャリティーリレーfor AFRICA：WRJアフリカプロジェクトをサポートするためのリレーイベント
- 3) チャリティーラン in グローバルフェスタジャパン：グローバルフェスタ参加NGOの現地プロジェクトをサポートするためのランニングイベント

さらに走り始める機会と走り続ける機会の提供として毎月第2日曜日皇居周回コースにて「定期ラン」を開催します。

広報活動としてWRJが今何処にいるかを多くの人々に知ってもらい、活動への参加の機会を提供するため「ニュースレターの発行」「ホームページのリニューアル」を行ないます。

今後とも、より多くの人々に走ると言うシンプルな自己表現を通し、国際貢献や社会貢献の機会への参加のための入り口として「走るという新たな切り口」を提供し続けてゆく所存です。又、それを可能とするWRJの活動への参加の機会をもさらに多くの人々に提供し続けてゆこうというものです。

走るということを通し地球の未来に関わる活動を20年以上続けてきたわけであり、すでにその蓄積や経験により応分の信頼とその社会的責任を担ってきた所です。これからも、これらの事業を継続してゆくと共に、今後の事業予算規模の拡大、世代交代と組織の継続性等を担保し組織の信頼性をより客観的なものとする為、特定非営利活動法人として認証を受け、さらに開かれた組織運営と社会的責任を果たすこととし特定非営利活動法人を設立するものです。

2010年8月30日

特定非営利活動法人 ワールドランナーズ・ジャパン

設立代表 加藤 典宇暉